



くつろぎたいむ

Vol. 70

2019 Autumn

「松江よさこい連 國美輝」のよさこい演舞



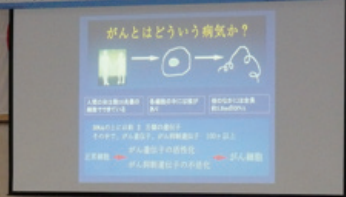
松江だんだんプロレス有終の美
「日赤だんだーん！」



屋上ヘリポートで
ハートラちゃんと記念写真！

第6回 病院まつりを開催しました！

令和元年度
松江赤十字病院 市民公開講座



がんサバイバーを支援しよう
松江赤十字病院 市民公開講座
講師 垣添忠生 先生

内視鏡手術器具を使って気分は Dr. !



垣添忠生先生による市民公開講座

手術室見学ではたくさんの手術器具に興味津々

聴診器で体の中の音を聴いてみよう

9月14日に「病院まつり」を開催しました。これは普段病院を利用されたことのない方にも当院の医療を知ってもらおうと、新病院完成を機に毎年開催しているイベントであり、今年で6回目を迎えます。

毎年大人気の手術室見学ツアーや医師体験、ヘリポート見学はもちろんのこと、肺機能検査や調剤体験、看護体験などすべてのイベントブースに多数お越しいただきました。

公開空地のメインイベントは、2年連続の「松江だんだんプロレス」。タッグマッチ、タイトルマッチなど熱戦を繰り広げられ、最後には赤十字救急指導員とコラボして救急蘇生のパフォーマンスまで披露してくださいました。

また、同時開催の市民公開講座では、がん研究センター名誉総長の垣添忠生先生による講演会「がんサバイバー（がん体験者）を支援しよう」。大変たくさんの方に聴講いただき、皆さん理解を深めた様子でした。

当日は過去最高の約1100名の方にご来場いただきました。ありがとうございました。



Clinical Department
診療科紹介
循環器内科

循環器内科は1985年に開設され、現在は循環器内科スタッフ8名および心臓血管外科スタッフ5名でチームを組み、一般病床46床・集中治療病床（ICU/CCU）13床で循環器診療を行っております。

当院は三次救急病院でありますので、当科も循環器急性期診療は特に力を入れており、特に死亡率の高い急性心筋梗塞症に対する緊急心カテーテル治療体制は、24時間・365日いかなる時も速やかに行えるよう整えております。

松江市は全国屈指の高齢化地域であり、高齢化により急増している循環器疾患（心不全、心房細動・弁膜症）が問題となっています。特に心不全は「心不全パンデミック」と呼ばれるほどに急増してお

り、高齢に加え様々な患者背景が問題となることがほとんどであるため、医師単独での対応では限界が生じております。現在このような患者さんに対し多職種（医師、看護師、薬剤師、栄養士、理学療法士、医療ソーシャルワーカー）での介入による包括的管理を構築し（心不全多職種チーム）、院外（診療所医師、訪問看護師、ケアマネージャー）の協力を得ながら再入院を減らす努力を行っております。

心房細動は全脳卒中の3割を超える原因疾患です。また高齢者では心不全の原因となることが多く、健康寿命延伸の障害となっております。当科は脳卒中や心不全を予防すべき適切な薬物治療や、カテーテル根治療法などで対応しております。

心臓弁膜症の中では大動脈弁狭窄症が急増しております。80歳を超える高齢者が多く、心不全の原因となります。近年は80歳を超えても活動性が高く、自立した生活を送っておられる人は大変多く、この病気も健康寿命延伸の妨げとなっており、外科手術が一般的な治療法となりますが年齢的に難しい場合が多く、当院はより負担の少ないカテーテル治療（経皮的な大動脈弁留置術：TAVI治療）を本年3月より開始しております。本治療は循環器内科と心臓血管外科のみならず、麻酔科、看護師、臨床工学技士、放射線技師などの

多職種協力体制（ハートチームと呼びます）と綿密なトレーニングが必要であり、患者さんにより安全に負担をかけずに治療を行うべく日々努力を重ねております。

循環器疾患は全身的な影響が強く、治療においては全身管理を要する状況に容易になり得る病気で、従って安全かつ有効に治療を行うためには循環器内科や心臓血管外科の充実のみならず、他の診療科、医師以外のメディカルスタッフ、救急室や集中治療室の充実が必要となります。当院は十分にその要件を満たしていますので、当科受診の際はご安心ください。



Hello Doctors

8~10月採用医師紹介



血液内科

吾郷 浩厚

骨髄移植/血液疾患化学療法を専門に診療を行っており、本院でも全力を尽くす考えです。趣味は釣り、将棋、それから温泉です。



血液内科

喜澤 佑介

血液内科の喜澤と申します。生まれも育ちも大阪で初めて島根で働きます。慣れないことも多いですが一生懸命努力して参ります。よろしくお願いたします。



感染症科(小児科)

成相 昭吉

感染症科部長ですが、小児科医として35年勤めてきました。子どもたちの急性疾患の多くは感染症です。適切な診断と良い治療の選択に尽力したいと思います。



整形外科

牛尾 公典

整形外科の牛尾公典と申します。松江市の医療に貢献できるように一生懸命頑張ります。何卒よろしくお願ひ申し上げます。



形成外科

桑原 郁

「切除する手術」だけでなく、機能や整容面をより良くするために「造る手術」を行うのが形成外科の特徴です。いつも明るく前向きに、患者さんに寄り添った医療を目指します。



Clinical Department

診療科紹介

心臓血管外科

心臓血管外科は、1986年に島根県で初めて心臓血管外科としての診療科を創設し、以来年間に250例前後の手術を施行しています。主要な手術は人工心肺を用いた心大血管手術で、開設以来3000例超を行っており、その他、大血管へのステントグラフト内挿術、腹部大動脈瘤・末梢動脈の手術、静脈瘤の手術、透析患者さんへの内シャント造設手術などを中心にを行っています。

現在、嘱託医を含め5名のスタッフで診療にあたらせていただいています。ハート・チームとして循環器内科と綿密に連携を取りながら治療方針を決定しており、循環器内科医と心臓血管外科医がカン

ファレンスで話し合い、一人一人の患者さんの治療方針を検討し、手術はあくまでも最終手段として考え、患者さんにとってベストな治療となるように心掛けています。循環器内科・心臓血管外科は同じ病棟で常に緊密に連携して行動しており、重症疾患では両者の息の合った協力態勢が救命にものを用いることを実感しており、循環器内科と外科との連携の良さは、当院の持ち味の一つと思っています。

各診療科のサポートだけではなく、手術後のリハビリに代表されるコメディカルのサポートも心臓血管の大手術には大変重要な役割となります。リハビリは手術後のことも考えて手術前より担当療法士が対応し、土曜日、日曜日の病院休診日も積極的にリハビリを行っています。食事や薬のことについても担当の栄養士、薬剤師があり、日々相談しながら、多くのスタッフのサポートのもと、皆さんの回復のお手伝いをさせていただきます。また、心臓血管外科手術には切り離すことのできない臨床工学技士も24時間、常に様々な場面で医療機器の操作、調整など重要な診療のサポートをしてくれ、これも患者さんにとって力強い味方となっているかと思えます。さらに、当科では診療看

護師(Nurse Practitioner: NP)が入院中の患者さんのサポートをしてくれています。NPとは医師に準じた処置もできる特別な資格を持った看護師で、当科に入院中の患者さんの管理に、手術中も含めて多岐にわたって携わっています。山陰地方では心臓血管外科に携わるNPは初となりますが、医師の働き方改革が言われている中、強力な助っ人となるよう皆さんのお世話に取り組んでいます。病気に休日はありません。様々なニーズに対応できるようスタッフみんなで工夫、協力し、皆さんの診療にあたらせていただいています。

虚血性心疾患のバイパス手術は、個々の患者さんの状態を考え、従来よりなされている人工心肺を使用した心停止下による方法と人工心肺を使用しない心拍動下での双方で行っています。胸部・腹部大動脈瘤に対する治療は、開胸・開腹による人工血管置換術に加えて、ステントグラフトによる治療も定着し、また、以前であれば静脈そのものを除去するのが基本であった静脈瘤の手術に対しては、麻酔も軽く切開をほとんど必要としないレーザー治療を行っています。また、2018年4月に島根県では初となるハイブリッド手術室が完成、ステントグラフトに代表さ

れるような通常の手術に血管造影技術を駆使して行う手術をより高い精度で行うことが可能となりました。2019年3月からは、大動脈弁狭窄症に対するカテーテル的大動脈弁移植術(TAVI)も導入いたしました。今までは開胸し、人工心肺を使用して心臓を停止させて行っていた手術と異なり、主に鼠径部の動脈からカテーテルを用いて心臓拍動下に人工弁を留置することができる画期的な方法で



(次ページへ続く)

す。主に高齢者が対象となる手術ですが、お心当たりのある方はお気軽に御相談をいただければと思います。

高齢者の心臓、大血管手術は増加の一途をたどっており、最近では、以前と比べ脳梗塞、慢性肺疾患、糖尿病、慢性腎不全・維持透析等々の疾患を併せ持った患者さんが増えており、年齢以上に本来より難易度の高い手術が増えています。高齢化、合併疾患の増加を受けて、今後は、安全・安心の医療を実現するためにも、高度さのみならず医療に繊細さが一層必要になると思われまます。手術前後の管理も多様な病態に対応する必要があり、心臓血管外科のみの診療では不十分なケースが増えていきます。それに対応すべく様々な専門科と協力し、当院の総合力を結集して診療にあたるようにしています。少しでも皆さんに満足していただけるように、私どももよりよき循環器診療を目指して日々研鑽を積んでいきたいと思っております。

当院のハート・チームは、この地域の24時間、365日緊急対応の診療を30年以上にわたって行ってきた。今後も地域のSO Sには必ず応じ、基幹病院としての責任を果たしていけるようにしていきたいと思っております。

2019年度 後期

外来糖尿病教室

※毎回予約制 ※糖尿病手帳をお持ちの方はご持参ください。
申込・問い合わせ先…担当保健師 吉岡 TEL(0852)24-2111代



糖尿病治療の基本 その4～合併症を防ぐ②～

- * 知っていますか? 「し・め・じ」と「え・の・き」…………… 医師 佐藤 利昭
 - * 食物繊維を上手にとりましょう…………… 管理栄養士 引野 義之
 - * 糖尿病療養指導士からのメッセージ…………… 理学療法士
- 【食事会】 芋・豆・南瓜の楽しみ方は?



調理実習

見た目も味も大満足!
ヘルシーおせちを作りましょう…………… 管理栄養士 赤名奈緒子

要予約 1回10名まで

**同じ内容で2日間行います。どちらかご都合のいい日を予約してください。



糖尿病治療の基本 その5～薬物療法～

- * ご自分の薬の作用がわかりますか?…………… 医師 山本 公美
 - * 食事療法を長く続けるためのヒントは?…………… 管理栄養士 安原みずほ
 - * 糖尿病療養指導士からのメッセージ…………… 薬剤師
- 【食事会】 脱マンネリ! アイディアメニューを紹介します

健康医学講座



【講演時間】 14:00～15:00
【受付開始時間】 13:30～
【場所】 本館6階講堂 (受講は事前にお申込みください)
申込・問い合わせ先…
医療社会事業課 TEL(0852)24-2111代



高齢者の食事

管理栄養士 長谷 教代



患者総合支援センターについて

患者総合支援センター看護師



■病院理念……わたしたちは、「人道・博愛」の赤十字精神に基づき地域の医療に貢献します。

■基本方針……

- ① 地域の基幹病院として、説明と同意に基づく「高度」「良質」な医療を提供します。
- ② 急性期病院として保健・医療・福祉・介護機関との連携を進め、一貫した医療を行います。
- ③ 救急病院として24時間地域の健康を守ります。
- ④ 赤十字病院として災害救護に貢献します。
- ⑤ 教育病院として次世代の医療人を育てます。

松江赤十字病院 『患者さまの権利』

1. ひとりの人間として人格と価値観を尊重される権利があります。
2. 医療提供者との相互協力のもと、良質な医療を公平に受ける権利があります。
3. 検査・治療法などの自分が受ける医療の内容について、わかりやすい言葉や方法で説明を受ける権利があります。

4. 説明を十分理解し同意した上で、医療行為を受けるかどうか自分の意志で選択する権利があります。
5. 医療行為の選択にあたって、他の医療者の意見(セカンドオピニオン)を求める権利があります。
6. 診療の過程で得られた個人情報、個人の秘密として厳正に保護され、承諾なしには開示されない権利があります。
7. 自分が受けている医療内容を知るために、診療録の開示を求める権利があります。

私たちが、上に掲げた患者さまの権利を尊重した医療を提供するために、患者さまには次のことをお願いいたします。

- ① 自分の健康に関する正しい情報の提供
- ② 医療への積極的な参加
- ③ 病院の規則を守ること
- ④ 研修医、医学生、看護学生などの研修・実習・見学への理解と協力